

私のおすすめスポット

会員 氏田 公基（燕市在住）

私のおすすめスポットは国上山の朝日山公園の展望台からの眺めと、千眼堂吊り橋の景観です。

朝日山公園は合併前の分水町が国上山の公園として整備し東屋や遊具（ブランコ、すべり台等）を設置して、染井吉野や八重桜などの桜、もみじなどの植樹を行い、市民の憩いの場となっています。

千眼堂吊り橋は平成2年、竹下内閣の時に消費税を初めて3%に決め、その後、各市町村に1億円を「ふるさと創成基金」として市町村に交付しました。分水町ではその1億円を活用して吊り橋を架橋しました。

その後は五合庵への観光客が周遊できるようになり、観光面でかなりの寄与しました。合併前の分水町のホームページの表紙は、このオレンジ色に輝く千眼堂吊り橋が映ったものでした。

朝日山展望台は南側に面し、眼下を大河津分水路が堂々と流れて行くのが見渡せます。遠望すると、米山や魚沼三山、県境の谷川岳や苗場山までも、晴れた日は望める、最高のナイススポットです。



↑国上山トレッキングを楽しむ人もいっぱいいます



← 朝日山展望台の良寛像



← 朝日山展望台からの眺め



← 千眼堂吊り橋

出典：新潟県HP/新潟県観光協会HPより

夏休みの恒例行事 水辺の生き物観察会

日時：平成29年8月26日（土）9：00～12：00

場所：大河津分水公園 体験水路

参加：27名

主催：NPO法人水環境技術研究会/共催：NPO法人信濃川大河津資料館友の会

実際に川に入って生き物を捕まえる観察会は毎年好評をいただいでいて、今年も多く親子・家族連れの方が参加してくれました。前日まで降った雨のせいで川が濁ってしまい、なかなか水中が見えませんが子供たちは魚を見つけようと一生懸命探していました。講師の方から川で遊ぶ時の注意点や魚の捕まえ方、捕まえた生き物の生態など詳しく解説してもらったと、子供たちのみならず大人も興味深く聞いている様子でした。川にはいろいろな種類の魚やザリガニ、ドジョウがいることを学び、大河津分水の豊かな自然や環境について、たくさん知ってもらえたと思います。子供達が楽しんでくれたようで何よりです。





米野 紀男 氏



内の倉ダム内部

県内河川探訪 『～羽越水害50年～内の倉ダム・胎内リゾートを巡る』

日時：平成29年9月14日（木）8：30～17：45

場所：内の倉ダム/ロイヤル胎内パークホテル レストランMISAGO（昼食）/胎内平橋/胎内平橋/胎内高原ビール園/越後胎内観音/シンクルトン記念館・石油公園

参加：22名

8月25日、下越地方を中心に大雨が降り、胎内市でダム工事現場に通じる県道の路肩が崩落する被害が起きました。当初の計画だった奥胎内ダム建設現場へは通行が難しい状況ということでやむなく変更を余儀なくされることに。急きょ、内の倉ダムへ計画を変更しました。内の倉ダムは県内唯一の中空重力ダムで内部が空洞になっている珍しいダムということです。今回の河川探訪には羽越水害当時、中心的に動かれた元新潟県職員の米野 紀男氏に合流していただき、当時の水害の事や胎内地域について特別にご説明していただきました。詳しい資料や現地での案内など丁寧な対応に感謝です。奥胎内ダムへは行けませんでした。羽越水害の貴重なお話を聞くことができたのはとても良い勉強になりました。

紙芝居と絵本の読み聞かせ

日時：平成29年8月26日（土）10：00～11：00

場所：信濃川大河津資料館1F休憩室

参加：15名

小さなお子さん向けに絵本と手作り紙芝居の読み聞かせ会を初めて開きました。絵本の読み聞かせは会員の解良 節子さん、紙芝居は燕市で活動している「bakka舎」の皆さんにご協力いただきました。赤ちゃんから小学校のお子さんまでの親子連れが参加し、とても賑やかな会になりました。途中で腹話術人形が登場する一幕も。人形と一緒に歌を歌ったり、しりとりをしたりと、子供たちはとても楽しそうでした。会場にはキッズスペースを設け、読み聞かせが終わった後、手作りのおもちゃで友達と遊んだり、まだまだ遊び足りない様子。帰りにはおまけとして折り紙で作った人形やミニバックをプレゼントすると、皆喜んでくれました。初のイベントは大成功で終わることができ大満足です。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

→
手作り紙芝居



←
腹話術人形に興味津々

→
長い列が！



←
家族みんなが満悦

サケまつり

日時：平成29年10月14日（土）11：30～12：30

場所：信濃川大河津資料館前

参加：150名

風も穏やかなお天気に恵まれた日となりました。地域の方々が楽しみにしているサケまつりは今回も大盛況。開始の11：30近くなるとぞくぞくと人が集まりはじめ、今か今かと待ちきれない様子に。時間になると長蛇の列ができ、数えると約100人近い人数になっていました。そして、配り始めてから約15分で予定していたおにぎりが無くなってしまう速さは過去最速ではないでしょうか。こんなに早く無くなるとはビックリです。サケ汁だけでも味わっていただきたかったので、今年はおにぎりが無くなった後も配りました。その後は、お子さん向けに牛乳パックで作った竹とんぼとヨーヨー釣りを用意し、少しでも喜んでもらうためにひと工夫。

お手伝いいただいたスタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。

今号の～典生のつぶやき～はお休みとさせていただきます。

1泊2日県外河川探訪バスツアー『建設が進むハッ場ダム探索』

日時：平成29年10月28日（土）～29日（日）

場所：【1日目】月夜野びーどろパーク/「なるほど！ハッ場資料館」/
ハッ場ダム工事現場

【2日目】かみつけの里博物館/富岡製糸場

参加：34名

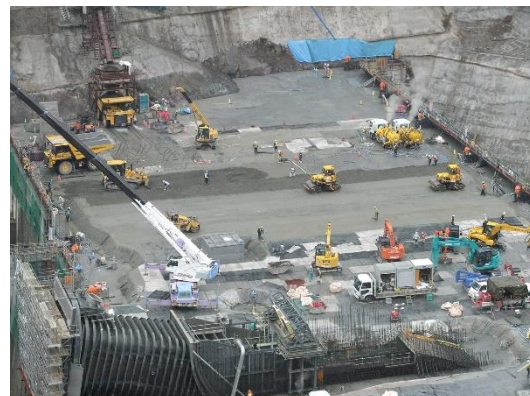
台風が過ぎ去り安心してバスツアーの日を迎えるかと思いきや、また日本列島の南東で発生してしまい、その影響で怪しい雲行きになってしまいました。なんとか天気もってくれることを願って出発。途中までは良かったのですが、ハッ場ダム付近になるとぽつぽつ雨が降ってきてしまい、工事現場を見学する時には完全に雨模様になってしまいました。現場はダムを見下ろす形で見学でき、たくさんの重機やトラックがいくつも作業している様子はまるでミニチュアのようなようでした。性質の違うコンクリートを流しては押し固めという作業を繰り返し、24時間体制で工事を行っているということに驚きです。現在のダムの建設に至るまでの歴史と地元の方の想いを知ると感慨深いものがあります。分かりやすく案内していただいたやんばコンシェルジュの方に感謝です。

翌日も雨が降り続いて、見学場所でも傘が手放せませんでした。古墳時代に出土した人物や動物埴輪など見学したかみつけの里博物館の後は、世界遺産に登録された富岡製糸場へ。日曜日ということもあり、多くの観光客でごった返していたので、見学にも一苦労でした。

2日間の見学行程を無事に終えて今回のバスツアーを終えました。ハプニングもいくつかありましたが、楽しく貴重な経験ができた素晴らしい旅になりました。



建設が進むハッ場ダム工事現場



ミニチュアに見える重機やダンプ



← 富岡製糸場



← 夜の懇親会



← やんばコンシェルジュによる説明

信濃川大河津資料館『秋の特別展』のお知らせ



大河津分水通水100年キックオフ事業

～100年前の大河津分水工事～

【期間】平成29年10月3日（火）～12月24日（日）

【会場】信濃川大河津資料館 2F企画展示スペース

越後平野発展の礎である大河津分水。その建設を支えた幾多の苦勞と犠牲。

図面や写真などを通じて工事の全体像を紐解いていきます。

まもなく通水100年

1907（明治40年）年に着手した大河津分水工事。1922（大正11年）年の通水から数えると、2022年に大河津分水は通水100年を迎えます。

主催 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所





大河津分水講演会2017

—横田切れから120周年を越えて未来の河川防災を知る—

信濃川における大洪水の可能性と、もしもそのような大洪水が起こった場合にどうするか。大河津分水の拡幅計画を巡って本講演会を開催します。（事務局）

▶日 時 平成29年11月19日（日）

14：00～17：00

▶会 場 燕三条地場産業振興センター

リサーチコア・マルチメディアホール

▶参加費 無料

▶定 員 180名

▶交流会 17：30～

レストランメッセピア（リサーチコア隣）

会費5,000円 準立食形式

▶申込締切 平成29年11月15日（水）まで

※参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

【プログラム】

14：00 開会

14：15 講演①『超過洪水に対応するには
—持続可能な流域管理を考える—』

講師：玉井 信行 氏（東京大学名誉教授）

15：15 休憩

15：30 講演②『大河津分水路改修工事について』

講師：田部 成幸 氏（信濃川河川事務所長）

16：10 講演③

『昔の洪水と現代の出水から、未来の洪水を
考える』

講師：早川 典生 氏（友の会理事長）

16：40 総合討論

17：00 閉会

庭木の剪定

▶日 時 平成29年11月11日（土）

10：00～12：00

▶場 所 信濃川大河津資料館敷地内

▶慰労会 剪定作業終了後、慰労会（昼食会）を開催
します。

今年2回目となる剪定を行います。お手持ちの道具
を持参してお集まりください。剪定くず集めの方も募
集しています。ご協力いただける方は事務局までご連
絡ください。お待ちしております。（支援部）

『作品展/音楽会』出品・出演者 大募集！

昨年度、好評の会員による作品展と音楽会を今年も
開催します。そこで「作品を出品したい！」「音楽会
に出演したい！」という方を大募集しています。ジャン
ルは問いません。我こそはという方がいましたら、
どしどしご応募ください。お待ちしております！

◇友の会会員作品展 平成30年2月～3月

◇川辺の音楽会 平成30年3月17日（土）

お申込み・お問合せは事務局までご連絡ください。

河川文化講演会

—大河津分水工事で使用した道具について—

大河津分水工事で用いられた道具や越後平野の野鍛
冶の役割などのお話を通じて、先人たちの大河津分水
実現への想いに触れます。資料及び情報の意見交換会
も行います。参加希望の方は12月10日（日）までに事
務局へご連絡ください。（事業部）

▶講 師 森 行人 氏

（新潟市歴史博物館みなとぴあ 学芸員）

▶日 時 平成29年12月16日（土）

15：30～17：00

▶会 場 信濃川大河津資料館2F多目的ホール

▶定 員 20名

▶参加費 無料

理事・監事の皆さまへ

平成29年 第2回理事会を開催しますので、理事・監
事の方は出席をお願いします。

▶日 時 平成29年12月16日（土）13：00～15：15

▶会 場 信濃川大河津資料館3F会議室

※17：30より忘年会も開催します。参加者には別途詳
細をお知らせします。参加される方は事務局まで。

＜編集後記＞

◆資料館は小学校の校外学習のため、毎日とても賑わっています。
学校もそれぞれ違うので、案内方法や内容を変えないといけません。
子供たちと接していると、まだまだ勉強不足だと感じる毎日
です。◆大河津分水にも冬の使者「白鳥」の鳴き声が聞こえてき
ました。寒くなってきたので体調管理お気をつけください。（E）

＜事務局連絡先＞

〒959-0123 燕市大川津1215-7

TEL 090-2673-6596（事務局長）

080-9876-3683（事務局）

FAX 0256-97-3682

e-mail ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp

<https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>